



グローバル
化学産業の
展望

当社の貿易セクターの専門家

Olafは化学産業の当社貿易セクターの専門家です。彼は1987年にアトラディウスでキャリアをスタートし、2005年からはシニアアンダーライターのパポジションです。



「化学セクターのアンダーライターはエキサイティングでやりがいのある仕事です。化学産業は本場にグローバル産業で、多様なサブセクターから成り立っています。化学産業は実質的に全商業セクター向けのサプライヤーなので実に多様性に富んでいます。化学セクターはエネルギー価格への依存が高いため、セクターの成長鈍化しそうな業界を早い段階で予測するには、各国のエネルギー価格を注視することが重要です。さらに、持続可能性に対する継続的な注目は、他のセクターよりも化学産業により多くの影響を及ぼし、機会とリスクの両方をもたらします。」

Olaf Gierlichs-Steffens,
シニアアンダーライター、
ドイツ、ケルン

目次

化学産業のグローバル生産高は 2024年後半まで引き続き鈍化のまま

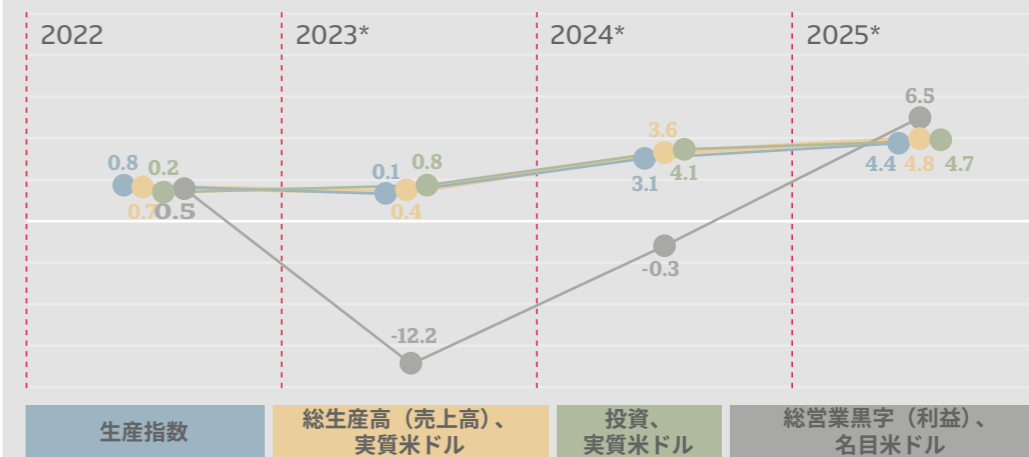
今年の生産高成長率予測がわずか0.1%とグローバル化学市場の展望は暗いです。成長が見られる市場は、中国およびインドが生産を増やしているアジア太平洋が主です。

一方、アメリカ、ヨーロッパおよびアフリカでは、2023年の成長率が前年比で縮小し、来年末までは生産高の回復は見られない可能性があります。

では、どうして化学産業に対してこのような厳しい年になったのでしょうか？原因は複雑で、業界のエネルギー、原材料、消費者信頼感への依存に根ざしています。エネルギー危機によって最悪の影響を受けた産業の一つが化学産業です。生産活動は原料としての石油とガスに大きく依存しており、エネルギー集約的な製造プロセスが必要です。

高インフレと金融引き締め政策により、原材料価格は高止まりのままであり、買い手および消費者の支出削減にもつながっています。需要の減少は、多くの化学メーカーが生産コストの上昇を顧客に転嫁できないことを意味します。

化学産業：グローバルの主な数値



対前年比変動率 (%)。(* 予測) 出典：オックスフォード・エコノミクス。



グローバル化学産業の見通しも、世界経済の状況を厳密に追跡する傾向もあります。化学製品は他の多くの下流産業でも見られるため、産業の成長パターンは経済の減速を反映しています。

回復もあり得る

来年の見通しは明るいです。建築や日用品などのセクターからの需要の伸びによって、化学セクターはグローバルレベルで3.1%の回復が予測されています。回復は当初は段階的でしょう。少なくとも2024年後半までは成長の勢いが加速する可能性が低いことを示す兆候があります。

化学産業のパフォーマンスの地域別概要

アジア太平洋

中国

中国における化学製品の生産は、国内需要に押し上げられ回復を示しています。2023年には6.9%、2024年には5.2%の生産高の増加が予測されています。国内の不動産セクターの成長の鈍化に影響を受けているものの、建築および自動車セクターなどの主要セクターの成長を促進するように設ける政策・措置が、化学製品の国内需要をサブセクター全体にわたって支えています。

とはいえ、まるで青い空のような中国の展望に影をおとす雲もあります。具体的には、サプライチェーンを遮断しかねない貿易摩擦の可能性です。これらは主に貿易と技術の問題に焦点を当てており、これまでのところ、化学多国籍企業は中国の生産と投資計画にコミットし続けています。

化学製品は中国では価格競争力を維持しており、輸出見通しを支えています。このままの状況が続くでしょうか？多くのメーカーにとって利ざやを圧迫する過剰供給の問題はありますが、おそらくこのままでしょう。

「化学製品は中国では価格競争力を維持していますが、利ざやを圧迫する過剰供給が問題になる可能性があります。」

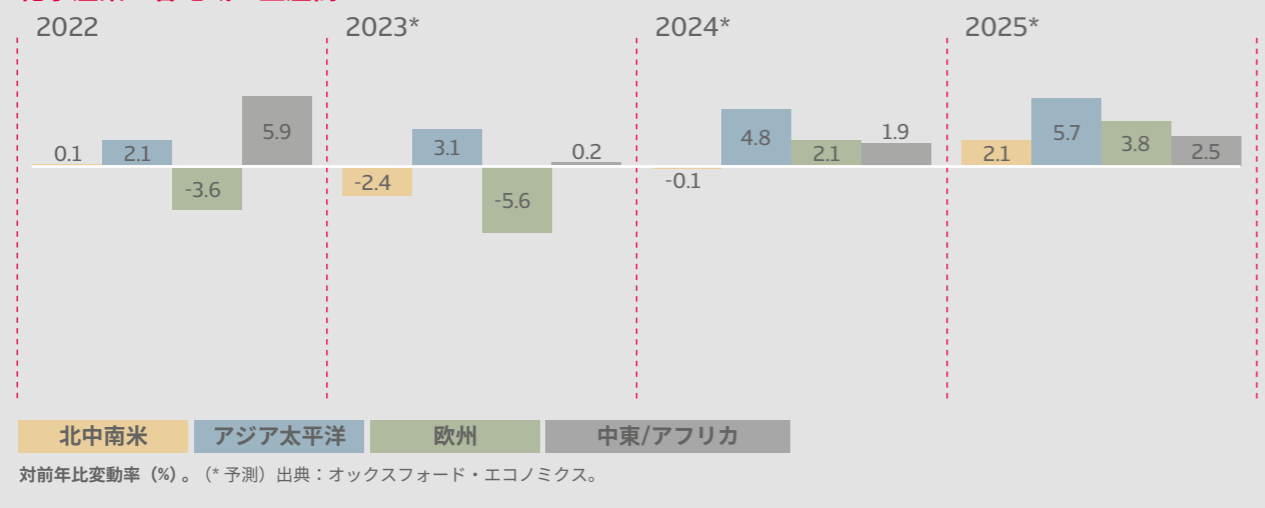
インド

インドの化学産業は巨大であり成長しています。現在は世界で第5位の規模であり、市場シェアを、グローバルな化学産業の成長より速い速度で拡大すると予測されています。2023年には4.3%、2024年には2.8%の生産高の増加が予測されています。

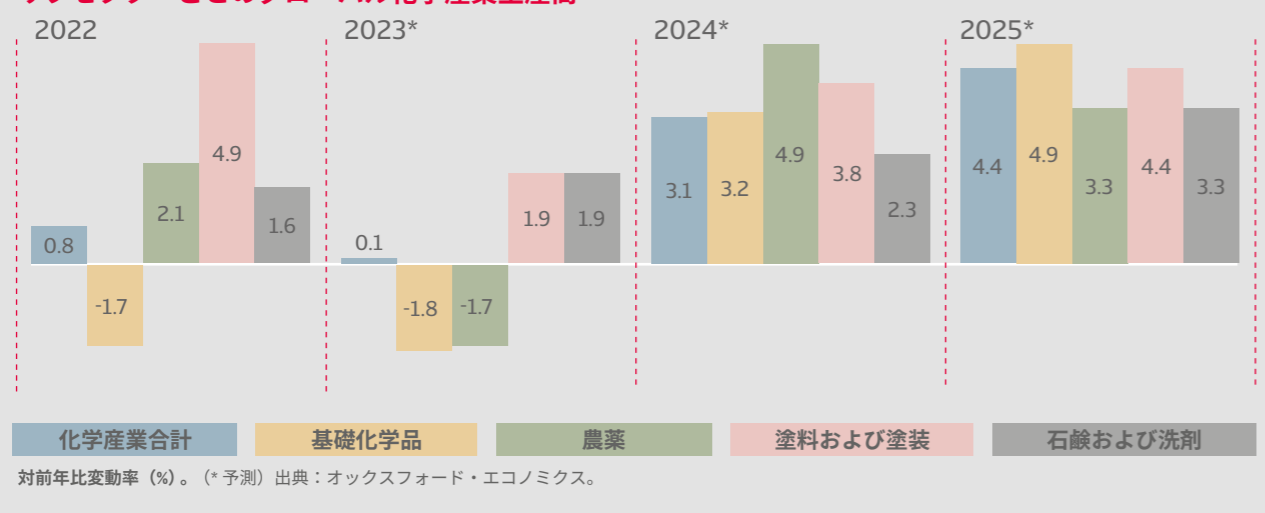
この成長は、人口の増加と経済の発展に伴う内需に牽引されています。政府は地元の産業の成長にも注力しています。政府の政策は今後10年間の成長を積極的に支援するため、海外直接投資を支援し、石油、化学および石油化学製品への投資地域を大規模に作り出しています。



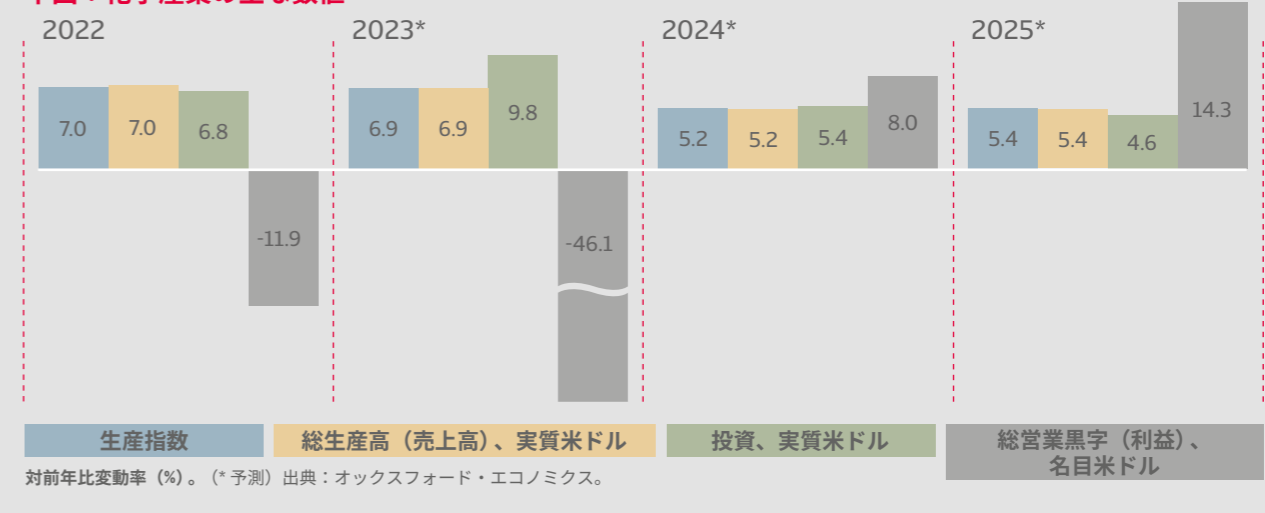
化学産業：各地域の生産高



サブセクターごとのグローバル化学産業生産高



中国：化学産業の主な数値



米国

米国における化学産業の生産高は縮小しています。2023年には1.9%、その翌年は0.8%の縮小を予測しています。2024年の後半までは、ほとんどの化学サブセクター向けの需要回復は予測されません。付加価値のある生産に対する需要は、2025年まで勢いを増さない可能性があります。

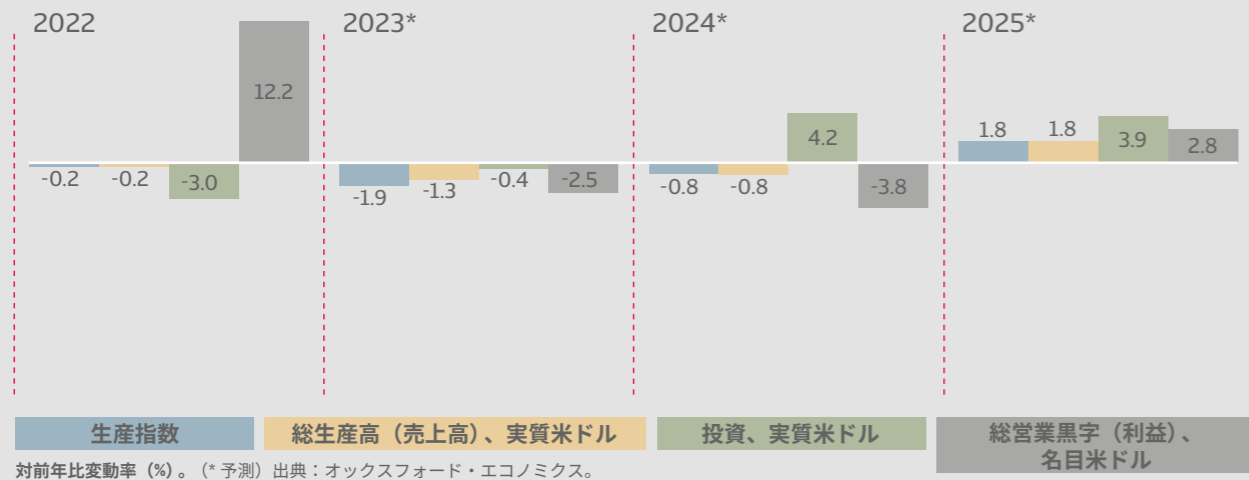
景気減速の多くは、高インフレと高金利をもたらす金融政策によるもので、その結果、融資条件が困難になっています。この難しい経済状況の影響は、建築、耐久消費財および電子機器などの下流産業セクターで特に明らかです。

しかしながら、産業の低迷が長期的に続くわけではありません。成長の見通しは力強いです。金利が緩和され始め需要が回復したら、米国化学産業の高い競争力（特に基礎化学品および化学肥料）は、サプライチェーンの遮断の緩和とともに、回復を後押しするでしょう。

同様に、他国政府の政策も産業の成長を支援しています。CHIPS and Science Actおよびインフレ削減法により、排出量を削減するための技術の開発が加速するでしょう。これにより、絶縁材、太陽光パネルおよびその他の関連製品を作るために使用される化学製品の需要を押し上げるでしょう。

米国の天然資源も成長を牽引し投資を呼び込むことに役立つでしょう。特にシェールガスはガス価格の安定化を導き、エチレンなどの化学製品の製造コストを引き下げました。これにより、米国の化学メーカー、特に上流の化学物質を製造するために通常ナフサ（石油デリバティブ）を使用するヨーロッパやアジアの同業者と比較して、コスト競争力で優位性を享受できるようになりました。

米国：化学産業の主な数値



「ドイツにおける化学産業のハブにとっては、メーカーのエネルギー価格が安価な国への移転の可能性が潜在的な損失を被るリスクです。」

欧州

ユーロ圏内および英国

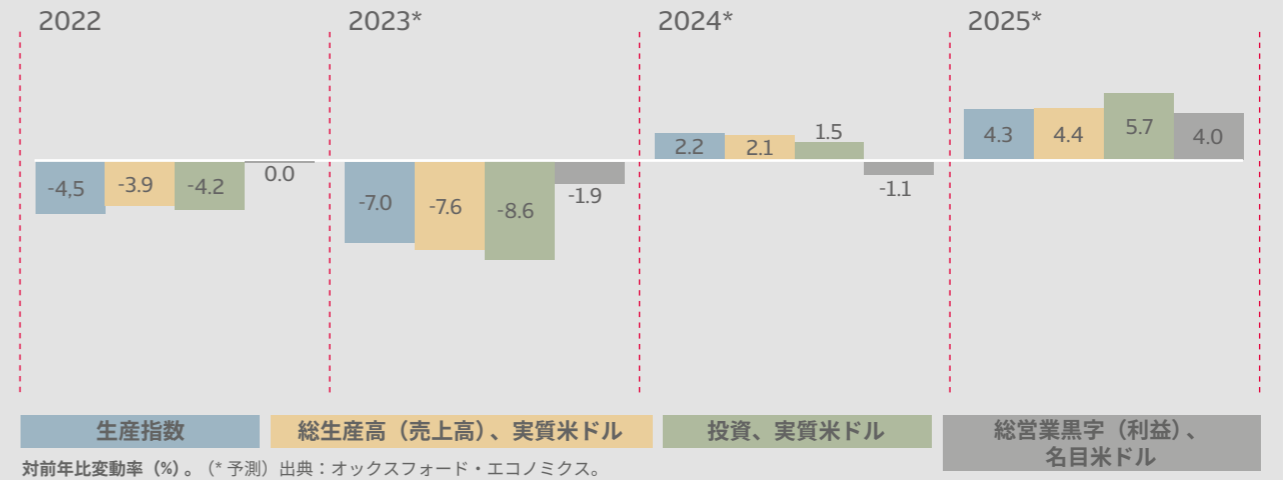
エネルギー価格の最近の下落にも関わらず、今年の欧州での化学産業の生産高は縮小しました。2023年末までに、化学産業の生産高はユーロ圏では6.4%、英国では5.6%縮小すると考えています。他の地域のように、高インフレと高金利による需要の減少によって成長が妨げられてきました。多くの顧客は高い在庫水準からの調整中であり、その結果、需要が抑制されています。

2024年には景気回復の兆しが見え始めるはずだが、これは控えめなもので、ユーロ圏では2.4%、英国ではわずか0.3%と推定されます。弱いグローバルな需要、さらにエネルギー価格が引き続き高いことが、成長への回復をゆっくりとしたものにしていきます。

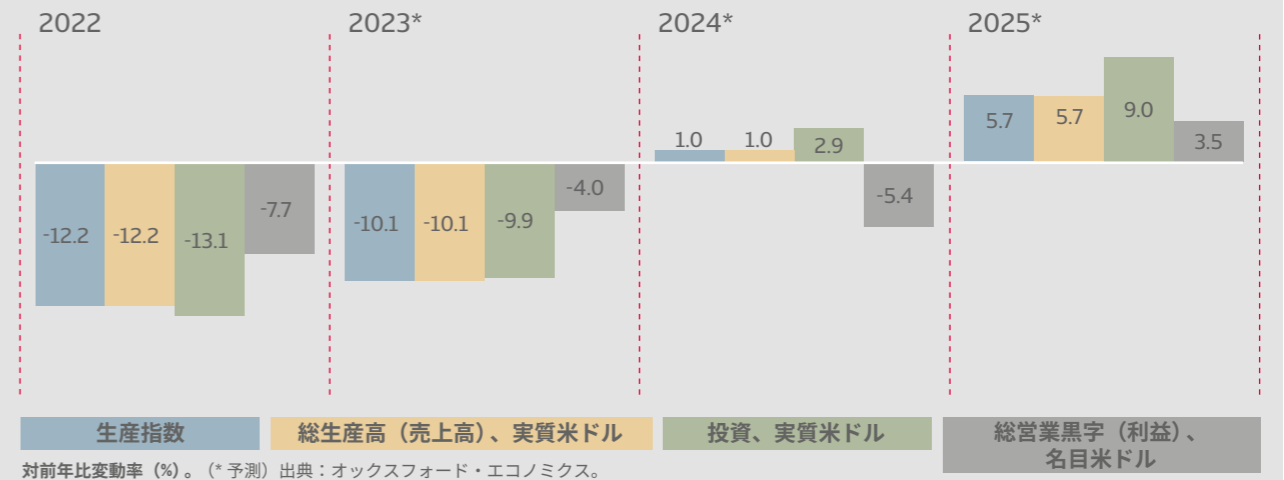
ドイツ

ドイツは欧州で間違いなく最大の化学製品生産国であり、グローバルな化学産業の生産高の4%超を占めています。

ユーロ圏内および英国：化学産業の主な数値



ドイツ：化学産業の主な数値



2022年には、ドイツにおける化学製品の生産は12%と大きく縮小しました。2023年末までには、生産はさらに10%縮小すると予測されていますが、2024年には1%とわずかながら回復すると考えています。

生産のこのような大幅減はドイツの産業に悪影響を及ぼしますが、影響は深刻ではない模様です。これは、セクターが強固な資本力、外部金融への良好なアクセス、さらにバランスの取れた債務プロファイルを備えていて、かなり堅固だからです。

そうはいつても、エネルギー価格は高く、業界は懸念を抱えています。最大のリスクには、エネルギー価格が比較的低い国々へのメーカーの移転の可能性が含まれます。上昇した生産コストを顧客に転嫁できない事業者は、キャッシュフローに行き詰り、今度は、サプライヤーの債務リスクとなりかねません。

「持続可能性への世界的な注目の高まりにより、プロセスは改善され、環境への影響は低減され、より安全な品質の良い製品がもたらされる可能性があります。」

産業に影響を与える可能性がある諸問題



ウクライナ紛争は化学産業に影響するか？

ロシアによるウクライナ侵攻は、欧州におけるエネルギー取引の流れに非常に重く、永続的な可能性のある影響を与えました。これによりすべてのセクターに影響を及ぼしますが、エネルギー集約型のプロセスや特定の原料の石油とガスへの依存により、化学産業は特に影響を受けています。

ガス価格は最近軟化しましたが、それでも極めて高いレベルにあり、2015～2019年の間の平均価格よりも70%超高いままです。エネルギー価格の高騰は、高い生産コストや厳格な規制とあいまって、多くの欧州の化学企業が米国またはアジアの競合他社との厳しい競争にさらされるであろうことを意味します。

しかしながら、一部の欧州企業は経済の活力を確保するために生産戦略を調整する計画を発表しているものの、少なくとも短期的には、企業の財務体力が深刻に悪化することはないと予想されます。長期的には、高い投入コストや弱い需要により影響を受ける可能性があります。

この状況がいつまで続くかはまだわかりません。「より環境に優しい」な産業への高額な投資には、短期から中期的に資金調達が必要ですが、非常に良好な信用比率を備えた企業にとっては問題にはならないでしょう。



化学産業は持続可能性に向けての主要なシフトにどの程度準備しているか？

化学産業が環境に与える影響、特にエネルギー消費、排出、廃棄物、および資源の利用についての認識が高まっています。多くの企業はそれに応えるために、環境に優しい技術や化学処理の活用を含む、持続可能な生産工程の開発を開始しています。

この動きは、持続可能な新しい材料と工程を市場にもたらすことにより、業界にさまざまな機会を与えます。化学産業はすでに研究開発に多大な投資をしています。持続可能性への世界的な注目の高まりにより、プロセスは改善され、環境への影響は低減され、より安全な品質の良い製品がもたらされる可能性があります。

しかしながら、水素を持続可能な原材料または燃料源として活用するなどの技術的な進歩がなければ、エネルギー混合が化石燃料から脱却し、セクターの排出量を低減する程度には限度があるでしょう。

一部の業界評論家は、EUの野心的な持続可能性計画を踏まえ、欧州の業界の信用リスクが増大する可能性を指摘しています。しかしながら、予測は困難です。なぜなら、エネルギー価格レベル、環境保護策にかかる費用、より環境に優し

い製品への需要の変化、そしてすでに持続可能な取り組みを実施している競合他社に市場シェアを奪われるなど、様々な要因に依存するからです。

プラスチックサブセクター

個々のサブセクターもそれぞれの課題に直面しています。例えば、EU、英国、中国、台湾、カナダ、米国の複数の州および都市、さらに複数のアフリカの国々など世界中の数多くの地域や領域では使い捨てプラスチック製品の禁止が実施されています。このような政策は疑いなく環境にとっては良いことですが、プラスチック産業に影響を与え、同等の機能を備えつつも環境に優しい代替材料を探すという課題を課せられます。

農業サブセクター

農業で利用される殺虫剤および肥料には、土壌および水質汚染などの環境への影響があります。このサブセクターの課題は、より持続可能な農業実践を開発し、環境保護の目標を達成することです。2030年までに有害な殺虫剤の使用を50%削減するというEUの「Farm to Fork Strategy（農場から食卓まで戦略）」のように、法的拘束力があるものもあります。



化学産業の成長の主要な原動力は何か？

化学産業は、その製品が他の多くの業界から需要があるという点で、ほぼユニークな立場にあります。化学製品は、医薬品から農業まで、さらに製造から最先端の技術まで、グローバルなサプライチェーンにおいて幅広く使用されています。そのため回復力が強く、産業の成長トレンドの大きな要因です。

B2B市場での安定した需要に加えて、特に新興市場からの消費者需要が伸びています。新興市場の消費者はますます豊かになり、購買力が強くなるとともに、消費財、車、石鹸や洗剤などの家庭用消耗品、化学物質をベースにした建設資材などの需要が高まっています。

電気自動車に対する世界的な消費者需要の成長も、化学産業の重要な成長要因です。最近の電気自動車製造の急増は、高性能プラスチックとバッテリーに使用される化学製品に対する需要を押し上げています。

世界の人口増加により、農業生産の増加の必要性も増えています。これにより肥料、殺虫剤などの農業の長期的な需要が高まるとともに、遺伝子組み換え作物などの分野での潜在的な成長も促進される可能性があります。

化学産業に影響する可能性が最も高い主な逆風は何か？

すでに述べたように、エネルギー価格は化学産業の成長に影響を与える重要な要因です。エネルギー集約型産業であるため、不安定なオイルおよびガス価格に非常に敏感です。業界、そして実際に世界がクリーンエネルギーに移行するにつれ、このセクターには課題だけでなく機会も生まれるでしょう。化学産業企業は今後も厳しい規制や、消費者の好みの変化に直面するでしょう。実際、環境に優しい製品や倫理的な製品に対する需要はすでに高まっています。原材料の調達先や環境へのインパクトを購入時に確かめる消費者が増えています。

脱炭素化はかなりの金融投資を伴います。しかし、さまざまな利害関係者グループからの圧力の増大に直面しているため、後れをとる余裕のある化学企業はほとんどありません。近い将来、ESGパフォーマンスはコストやさまざまな生産性指標とともに高く評価される見通しです。

「EUの野心的な持続可能性計画が欧州の化学産業の信用リスクを高めることになるかどうかを予想することは現時点では困難です。」

サマリー

今後数年間で見た化学セクターの上位3つの機会は何でしょうか？

持続可能で環境に優しい化学産業

持続可能性に対する世界的な需要は、化学産業にとって、環境に優しい製品やプロセスを開発、販売する重要な機会をもたらしています。これには、バイオベースの材料、再生可能エネルギーソリューション、循環廃棄物と資源の消費が含まれます。

デジタルトランスフォーメーション

人工知能、機械学習、モノのインターネット (IoT) などの包括的なデジタルテクノロジーを採用することで、化学企業は業務を合理化し、効率を高めることができます。データ分析により、生産工程、サプライチェーン管理が最適化され、予知保全が可能になり、製品開発にも役立ちます。

先端材料

電子機器、自動車および航空宇宙などのセクターは、高性能材料に対する需要の伸びを牽引しています。化学産業が特定のニーズを満たす材料を開発する機会をもたらし、さらに技術提供者と協力し、持続可能性に関するイニシアティブに関わるきっかけももたらします。化学企業が機会を収益化するには、研究開発への戦略的な投資が必要になるでしょう。電気自動車セクターの成長は、高性能プラスチックに対する需要を生み出しています。

中長期的に見た化学産業の制約と下振れリスクは何でしょうか？

規制とコンプライアンスの圧力

環境規制の厳格化は、化学品企業が規制の監視の強化に直面することを意味します。収益性と革新性を維持しながら、規制要件を満たすことは容易ではありません。特に、サプライチェーンや事業運営が複雑な企業にとっては困難です。

持続可能性への移行

産業への機会の提供に加えて、持続可能性の向上に重点を置くことは課題ももたらします。一番の課題は、研究、技術および工程のリエンジニアリングへの投資の必要性です。さらに、環境に優しい製品または倫理的な製品に対する消費者需要の伸びにより、化学企業に対して、環境への影響の説明、製品中に含まれる化学物質の記載、さらに脱炭素化アクションの評価を求める傾向が高まっています。

地政学的不安定さ

化学産業はサプライチェーンの遮断、関税、貿易制限、および地政学的混乱に脆弱である場合があります。このような課題に対処するには、戦略的な計画、アジャイルな事業モデル、規制当局との協調、さらには持続可能な実践を取り入れる積極的なアプローチが必要です。エネルギー集約型産業であるため、化学産業は不安定なオイルおよびガス価格に非常に敏感です。

SNSでアトラディウスの
公式アカウントをフォロー
youtube.com/user/atradiusgroup
linkedin.com/company/atradius
twitter.com/atradius

Copyright © Atradius N.V. 2023

免責事項：本書は情報提供のみを目的とするものであり、いかなる読者に対しても投資助言、法的助言、または特定の取引、投資、もしくは戦略に関する推奨をするものではありません。読者は提供された情報の利用に関し商用または非商用を問わず、必ず独自の独立した判断に依拠するものとします。アトラディウスは、信頼できる情報源から得た情報を本書に掲載するよう最善を尽くしていますが、誤りまたは遺漏、あるいはこの情報の使用に起因して生じる結果に対して一切の責任を負わないものとします。本書に含まれるすべての情報は「現状のまま」提供され、完全性、正確性、適時性またはその使用に起因して生じる結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も伴わないものとします。いかなる場合にも、アトラディウス、その関連するパートナーシップもしくは法人、またはそのパートナー、代理人もしくは従業員は、読者またはその他の者に対して、本書に含まれる情報に依拠した判断もしくは行為、またはいかなる機会の損失、利益の損失、製品の損失、ビジネスの損失もしくは間接的損失、特別もしくは類似のあらゆる種類の損害について、これらの損失もしくは損害の可能性について言及していた場合でも、一切の責任を負わないものとします。

Atradius

David Ricardostraat 1 · 1066 JS Amsterdam
P.O. box 8982 · 1006 JD Amsterdam
The Netherlands
電話：+31 (0)20 - 553 91 11

info@atradius.com
www.atradius.com